

2022年11月21日(日) メッセージアウトライン 「主の恵みの年を告げるために」

聖書箇所：ルカ4：14～21

タイトル：「主の恵みの年を告げるために」

テーマ：旧約聖書は神の前に罪人となった人間を、神がその罪を贖いもう一度神との関係を回復するために救い主を遣わすという約束を与えて下さった約束の書、新約聖書はその救い主が確かに来られた、それがイエス・キリストだと約束の成就を告げる書であります。その両方を合わせて聖書です。

今日の聖書箇所、イエス様が宣言された「あなた方が耳にしたとおり、今日、この聖書のことばが実現しました」という言葉の意味をよくよく吟味してみましょう。

特にここでイエス様が「恵みの年を告げるため」と宣言された意味を、旧約聖書を紐解きながらしっかりと受けとめ、恵みの年の中にすでに生かされている現在の私たちが歩むべき道を確認したいと思います。

1. 油注がれた者とは？

「主の霊がわたしの上にある。貧しい人に良い知らせを伝えるため、主はわたしに油を注ぎ、わたしを遣わされた。」ルカ4：18

①イエス様への油注ぎ（真の大祭司としての任命）

*イザヤ61：1からの引用（イスラエルでは王、祭司、預言者が油注ぎを受ける。イエス様は全部に当てはまるお方）イザヤ書で預言された、主なる神から油注ぎをお受けになるお方こそ、新約のイエス様である。

*ルカ3：21～22（イエス様は民と同じように、バプテスマのヨハネから洗礼を受けられた。その時聖霊が鳩のような形をして、イエス様の上に降って来られた。あなたはわたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ、という天からの声があった。イエスさまへの油注ぎは聖霊によってなされた。

②大祭司アロンの任命（旧約の時代の最初の大祭司）

（出エジ28：1、29～43 出エジ29：6～9、29 レビ8：12など参照）
アロンへの油注ぎはモーセによってなされた。

③大祭司イエス・キリストと大祭司アロンの違い

*人間である大祭司の務め

*神の子であるイエス様が
大祭司として任職された意味

2. 「恵みの年を告げ知らせる」とは？

①旧約聖書のレビ記に「ヨベルの年」という言葉が出てくる。（レビ25：21）その説明はレビ記25章全体に書かれている。ヨベルの年とは何？

②真の「恵みの年」の到来

*貧しい人とは？（ルカ6：20参照）

*捕らわれ人には解放を——捕らわれ人とはどんな人のこと？

*目の見えない人には目の開かれることを告げ——目の見えない人とは？

*虐げられている人を自由の身とし——虐げられている人とは？

以上のような人々（実はすべての人が何らかの囚われ人となっていたはず——それは人間が主なる神に背いた罪の結果である）に向かってイエス様は「恵みの年」の到来を告げられたのである。

3. 真の恵みの年を実現するためにイエス様がなされたこと

①大祭司としてのイエス様がなされたこと

*旧約の大祭司のとりなし、神と人間の仲介者の働きは何だったか？

*罪なき神の御子イエス様が神と人間の間の仲介者としてなされたこと

*真のヨベルの年、恵みの年は、イエス・キリストによって到来したのである。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、値なしに義と認められるからです。」ローマ3：24,25

4. 結論

◎イエス・キリストの贖いによって救われた者、義と認められた者の務めは？

*イエス様を信じる信仰によって救われたクリスチャンには聖霊が与えられ、神の子としての特権が与えられた。私たちが聖霊によって祭司としての任命を受けているのである。「あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。」（Iペテロ2：5）と記されている通りである。

*旧約の大祭司の第一号はアロンであるが、彼はモーセからの油注ぎによって大祭司に就任した。イエス様は聖霊の油注ぎにより救い主として就任された。私たちクリスチャンは、聖霊の油注ぎをいただいて罪の赦しの恵みを伝えるために祭司としての任命を受け、すでにその職についているのだ。

「私たちがあなたと一緒キリストのうちに堅く保ち、私たちに油を注がれた方は神です。」（IIコリント1：21）

新しい一週間、真のヨベルの年の成就者であるイエス様の十字架の死と復活による贖いと救いを宣べ伝えるために、聖霊の油注ぎをいただいた私たちが、家庭で、職場で、学びやで、どこであつても主が遣わしてくださる所で、この恵みの年の到来を喜びをもってお伝えしてまいりましょう。